

今日のトピック 米金融政策と業種別株価の動きを検証
過去の引き締め局面では割安、金融株が上昇
ポイント1 FRBは資産買入れ縮小の議論を本格化へ

- 米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長は6月17日の米連邦公開市場委員会（FOMC）後の記者会見で、「資産買入れ縮小（テーパリング）の議論を開始するか議論した」と、慎重な言い回ししながら近い将来の資産買入れ縮小を示唆しました。

ポイント2 過去の金融引き締め局面では株価は概ね堅調

- 2004年6月以降のFRBによる金融緩和縮小・金融引き締め局面は4回あり、そのうち3回で米国株式市場は上昇しています。
- 各局面の業種別のパフォーマンスを見ると、金融株が概ね堅調となっています。また、バリューストック（割安）、グロース（成長）の区分では、概ねバリューストック株が堅調となっています。
- ただし、2018年の金融引き締め局面のように、利上げに加えバランスシートの縮小も行われると、株価は下落しバリューストック株や金融株も弱含みます。

- 現在は利上げもバランスシート縮小もまだ議論される見通しすら立っておらず、実施は数年先と見られます。弊社では過去のテーパリング局面と同様に、今後も景気や業績の回復に伴って株価の上昇基調は続くと考えています。

【S&P500と米金融政策の局面】

【S&P500の局面ごとの騰落率】

	S&P500	バリュー	グロース
2004年利上げ	12%	21%	4%
2013年資産買入れ縮小	24%	20%	27%
2015年利上げ	23%	21%	23%
2018年バランスシート縮小	▲2%	▲7%	2%

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【S&P500の局面ごとの業種別騰落率】

	エネルギー	素材	資本財	消費財	必需品	ヘルスケア	金融	テック	通信	公益
2004年利上げ	77%	18%	10%	2%	8%	4%	16%	▲8%	19%	42%
2013年資産買入れ縮小	8%	19%	27%	20%	13%	40%	24%	34%	▲4%	14%
2015年利上げ	7%	30%	30%	14%	11%	15%	30%	40%	9%	29%
2018年バランスシート縮小	▲13%	▲13%	▲11%	9%	▲9%	2%	▲7%	2%	▲13%	▲4%

(注) 太字は米国株式市場全体を上回ったセクター

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**
2021年7月 9日 主要な資産の利回り比較 (2021年6月)
2021年6月29日 テーパリングと株価の動きを検証

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。